

あなたは  
どうする？

# 2人に1人はがんになる時代

生涯のうち2人に1人がかかると言われている「がん」は、年齢に関わらず誰にでも起こりうる病気です。早期発見と適切な治療や相談で、自分や家族、大切な人を守りましょう。

まずは早期発見

## 定期的にがん検診を 受けましょう

初期のがんは自覚症状がないことが多い、気がつかないまま進行することがあります。「自分は大丈夫」と思わず、自覚症状のない時こそ検診を受けましょう。横浜市では、職場で検診を受けられない人など、がん検診の機会がない人へ受診の場を提供しています。

今後、無料で検診や検査が受けられる機会を拡充し、早期発見・早期治療をさらに後押ししていきます。



### 横浜市のがん検診の種類

肺  
40歳以上  
エックス線検査



乳  
40歳以上  
マンモグラフィまたは  
マンモグラフィ+視触診

胃  
50歳以上  
内視鏡または  
エックス線検査

大腸  
40歳以上  
便潜血検査

前立腺  
50歳以上  
血液検査

子宮頸部  
30~60歳  
HPV検査  
20~29歳・61歳以上  
細胞診検査

横浜市けんしん  
専用ダイヤル

Tel 045-664-2606

(月~土曜8時30分~17時15分(日祝・休日を除く))  
Fax 045-664-3851

がんのことをなんでも相談！

全国自治体初

## 生成AIが答える がん相談サービス「よこはまランタン」

※「ランタン」は一般財団法人在宅がん療養財団が開発・運営しているサービスです。

匿名・無料で利用できる

医師などが監修した信頼できる情報をお届け

24時間365日いつでも

横浜市の制度や支援情報がすぐ見つかる

利用  
方法

1 二次元コードから  
アクセス



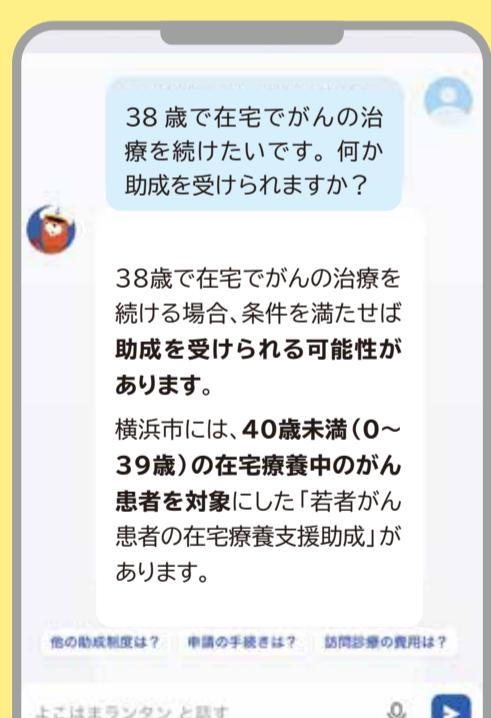
2 相談したい  
内容を入力



3 AIが回答を  
提示



4 必要に応じて  
再質問も可能



## 専門相談員が答える がん相談支援センター

市内14か所

がんの治療や今後の療養といった心配事に、看護師やソーシャルワーカーなどの専門相談員が寄り添います。他院に通院している人や家族も利用できます。



小児がんと  
向き合う子どもたちの  
“新たな居場所”づくり

小児がんは、15歳までにかかるさまざまな「がん」の総称です。横浜市では、長期入院などで同世代の友達と過ごす機会が少ない子どもたちが互いに交流できる場として、仮想空間(メタバース)を活用しています。

